品川区超短時間雇用シンポジウム
～ 働き手の強みを活かした雇用の創出～

本シンポジウムの資料については２次利用を禁止いたします。

令和７年２月１８日（火）

超短時間雇用モデルと
地域でのインクルーシブな働き方

近藤武夫
東京大学先端科学技術研究センター

東大先端研
Research Center for
Advanced Science and Technology
The University of Tokyo

目的

障害者雇用の機会を得にくい人々を、地域や企業、大学が連携してインクルーシブに働く「超短時間雇用モデル」の取り組みにおける障害のある人々の労働事例と社会的課題を概観

- 超短時間雇用で働く人の事例
- 背景にある考え方
- 超短時間雇用を地域で実現するモデル

超短時間雇用で働く人の事例

- 一般企業や商店街の店々で、障害のある人々と週数時間程度から共に働く事例
- 障害者雇用率の充足のために雇用されるのではなく、「特定の業務を果たすことができ、職場を助けてくれる人材」として雇用
- 業務の対価である時給は一般の労働者と同じ（最低賃金以上の妥当な賃金）

「超短時間雇用のワーカー事例」より
https://job.ideap.org/about/

超短時間雇用で働く人の事例

- これまで企業に雇用された経験がなかった精神障害のあるAさんは、週に数時間だけ、他の社員と同じ部署の同僚として、技術文書の翻訳にあたっています。
- 翻訳に従事してくれるAさんのおかげで、その部署の課長Bさんは、毎週行わなければならない短時間の翻訳業務を担当してくれる人を探す必要がなくなり、とても助かっています。

超短時間雇用で働く人の事例

- 難病により重度の肢体不自由があるCさんは、あるコンテンツ制作部署の制作業務の進捗管理と上長への報告業務を、週に数時間、担当しています。
- 次々にやってくる急ぎの製作業務への対応に追われているスタッフDさんは、毎週行わなければならない仕事をCさんが担ってくれるので、臨機応変な対応に割くことができる時間が増えています。

超短時間雇用で働く人の事例

- 発達障害と精神障害のあるEさんは、テレビ番組制作会社の番組撮影現場で、セットの組み付けと片付けを午前1時間と夕方1時間、担当しています。
- アシスタント・ディレクターが人手不足・なり手不足で見つからずに、自らの本務である管理業務を圧迫しながら、セット設営作業なども自ら行なっていたプロデューサーのFさんは、週数時間でも、優先度の高い業務に現場での時間を割り当てられています。

超短時間雇用で働く人の事例

- 知的障害のあるGさんは、商店街のパン屋さんで、デニッシュパンの整形業務を週1時間、担っています。
- これまでパン製造にすべての時間が取られ、店舗での接客に立ってお客さんと交流できないことを残念に思っていた店主のHさんは、短時間でも接客に立てるようになり、お客さんと交流したいという希望が叶っています。

超短時間雇用で働く人の事例

- 精神障害のあるIさんは、老舗の料理店で、週に数時間、穴子を焼く業務だけを専門に担当しています。
- 人手不足の中、特定の業務を毎週少しずつでも担ってくれる人がいてくれることは、料理店を営む上でとてもありがたい存在になっています。

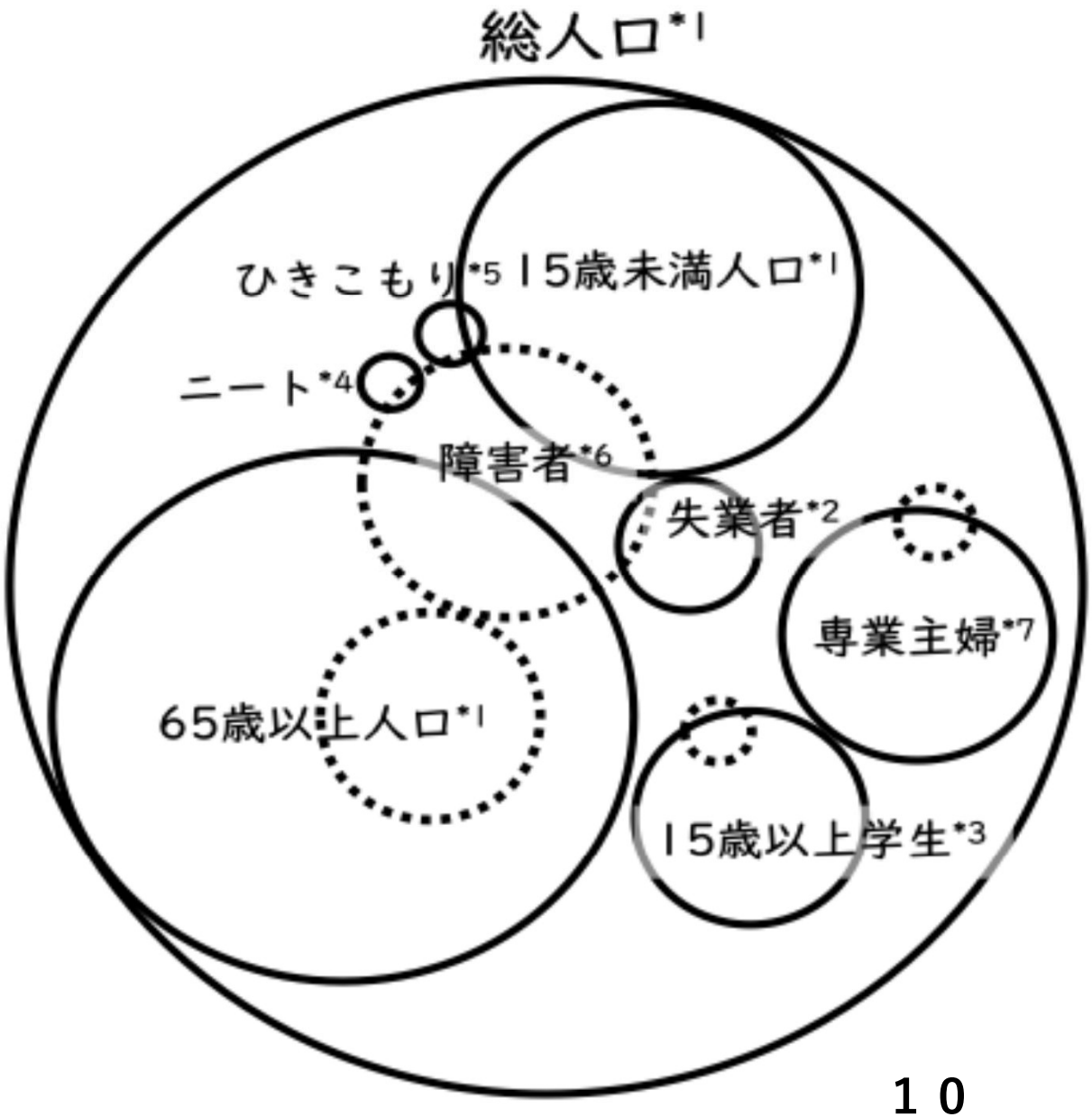
その他の事例

山本さん（仮名）の事例

- 解離性障害のため10年前から離転職を繰り返す
- 川崎市内の書店での図書装備の仕事
- 調子の悪い時には週1回、良い時には5回、一日3~5時間程度勤務

SOURCE: 川崎市・近藤武夫（2019）「やさしい雇用へのアプローチ」16ページより引用
http://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000093182.html

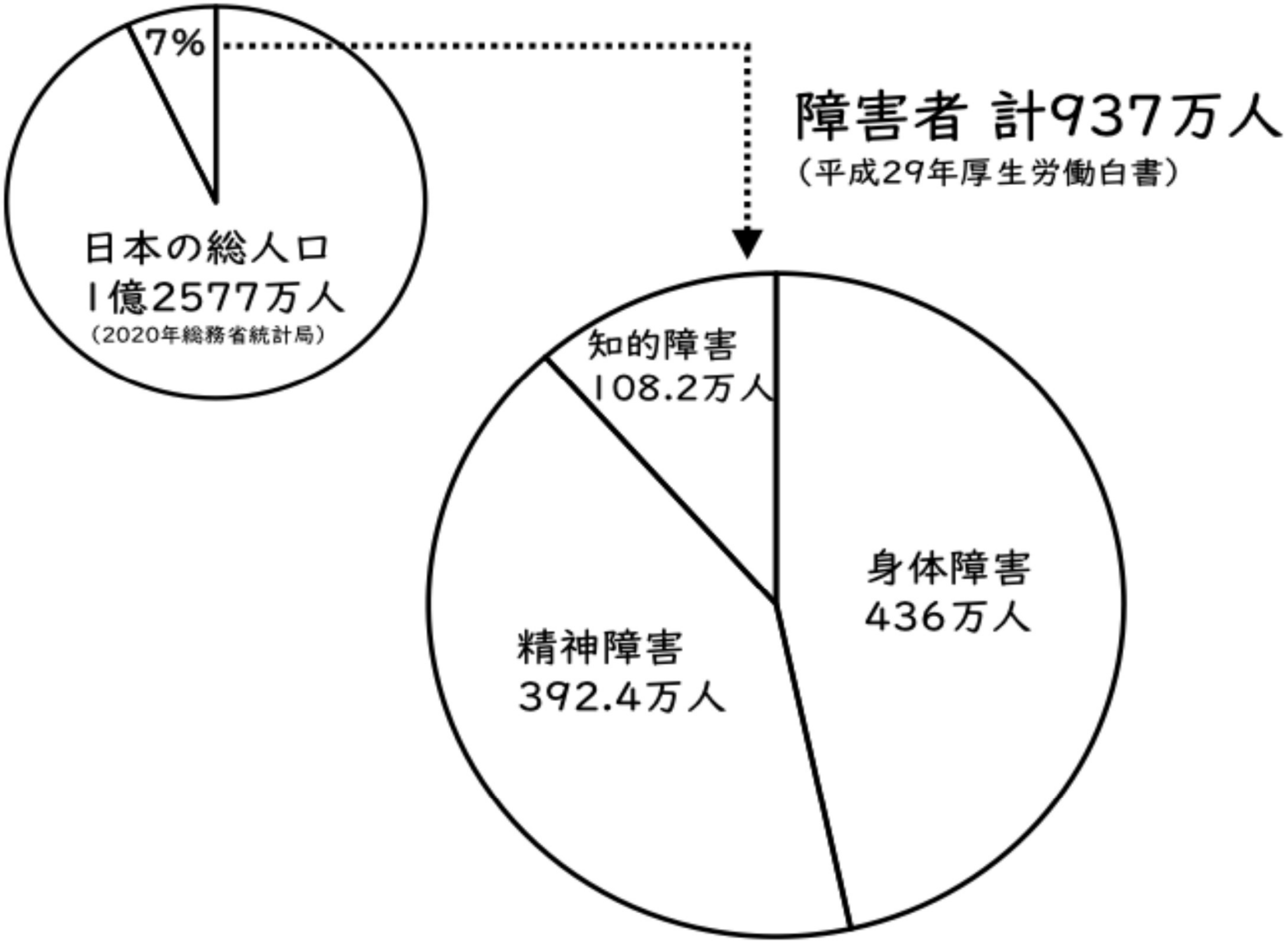
「障害者」とその周辺の人口統計



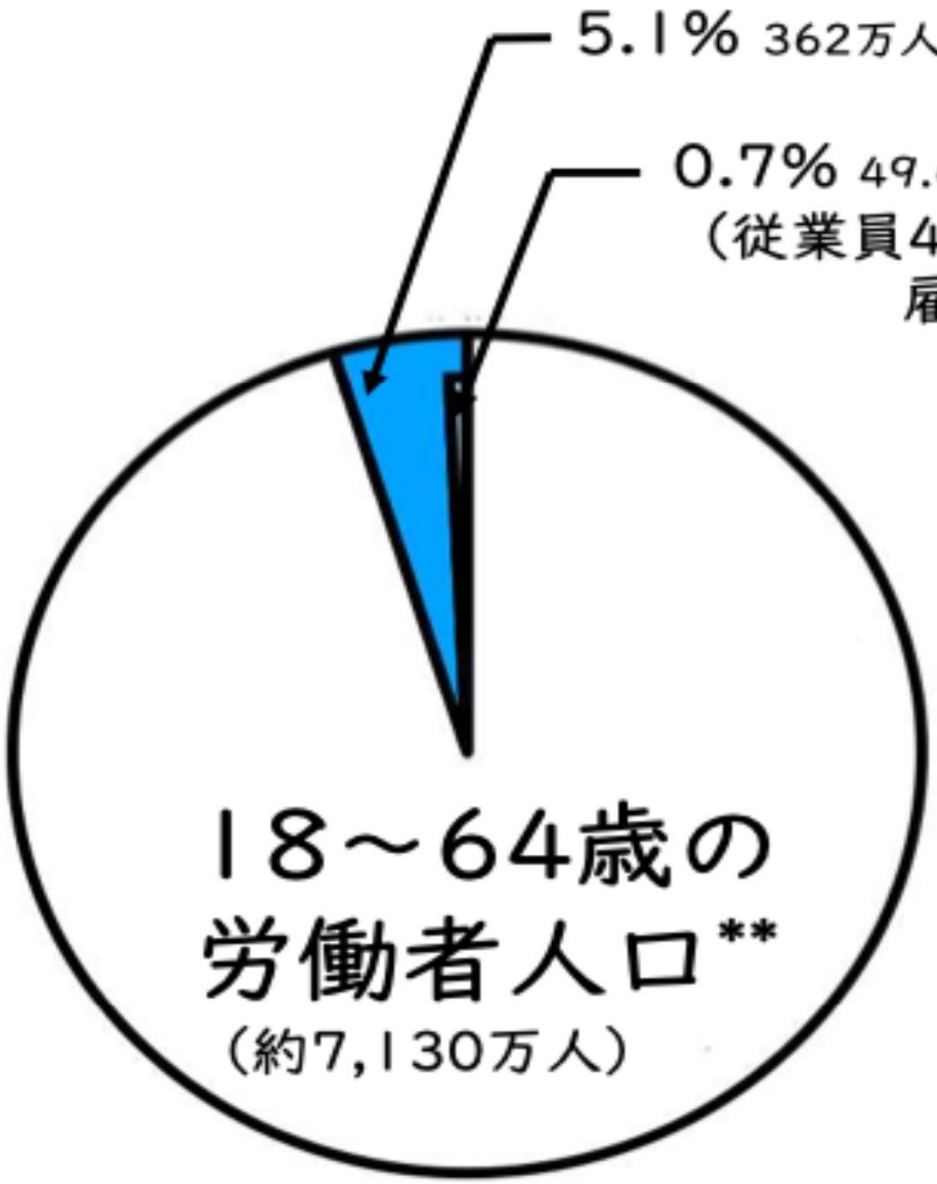
総人口	126,150,000
15歳以上の総人口	111,120,000
65歳以上人口	35,380,000
15歳未満の総人口	15,530,000
障害のある方	9,000,000
専業主婦	7,000,000
15歳以上学生	6,500,000
就職希望者	3,310,000
失業者	1,840,000
休業者	1,500,000
ひきこもり	696,000
ニート	630,000
50人以上の企業に就職している障害者	500,000

*1 RI総務省人口推計
*2 RI総務省労働力調査
*3 H30厚生労働白書
*4 H25厚労省雇用政策研究会報告書
*5 H27年内閣府 子供・若者白書
*6 H29厚生労働白書
*7 H27国勢調査

※人数（円の大きさ）は上記から。
円の重なりは筆者による推測。


7%
日本の総人口
1億2577万人
（2020年総務省統計局）
障害者 計937万人
（平成29年厚生労働白書）
知的障害
108.2万人
身体障害
436万人
精神障害
392.4万人

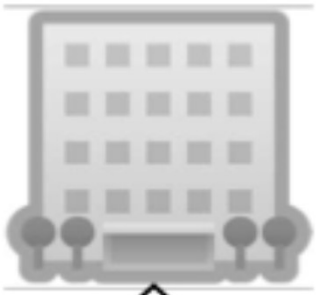
障害者の一般企業での雇用



一般企業で働く
障害者の数は
限られている

*労働政策審議会障害者雇用分科会第83回
**e-Stat「平成28年10月1日現在人口推

既存の障害者雇用施策



一般企業
障害者専用のキャリアパスを置く企業も

特例子会社
雇用した障害者を親会社の雇用率に算入

一般就労移行

政府事業による中間支援事業者

就労移行支援事業
通常の企業への移行を支援（2年間のみ）

就労継続支援事業（A型事業所）
福祉的就労、雇用契約と最賃適用あり

就労継続支援事業（B型事業所）
福祉的就労、雇用契約と最賃適用なし

障害者
（福祉サービス受給者）

特徴／残された課題

既存の障害者雇用率は週30時間以上、障害者手帳を持つ個人を雇用すると、1カウントと算定される

↓

雇用率達成を主眼とした企業での日本型雇用には労働時間の長さと職務の不明瞭さの壁が残る

（長所）障害者の就労移行を支える制度的中間支援が歴史的に手厚い

（短所）長時間安定労働が難しい精神障害や難病等、既存の日本型雇用には包摂が難しい事例の移行に弱い

↓

既存制度で対象となりにくかった人々を一般企業に包摂するシステム構築に着手

障害者雇用施策に残された問題

1. 働きたいが長時間働けない障害者との機会格差

- 就労移行支援事業に存在する「週30時間の証明」

2. 賃金の一般就労との格差

- B型事業所の月平均工賃15,603円, A型事業所74,085円（厚生労働省 平成 29 年度工賃(賃金)の実績について）
- 年収122万円以下の相対的貧困者が81.6%（きょうされん「障害のある人の地域生活実態調査」2016）

3. メインストリームからの排除傾向

- 特例子会社制度に見られるインクルージョンからの逆向

どう解決するか？

日本型雇用の厚い壁と社会的排除

「長時間働く必要がある」

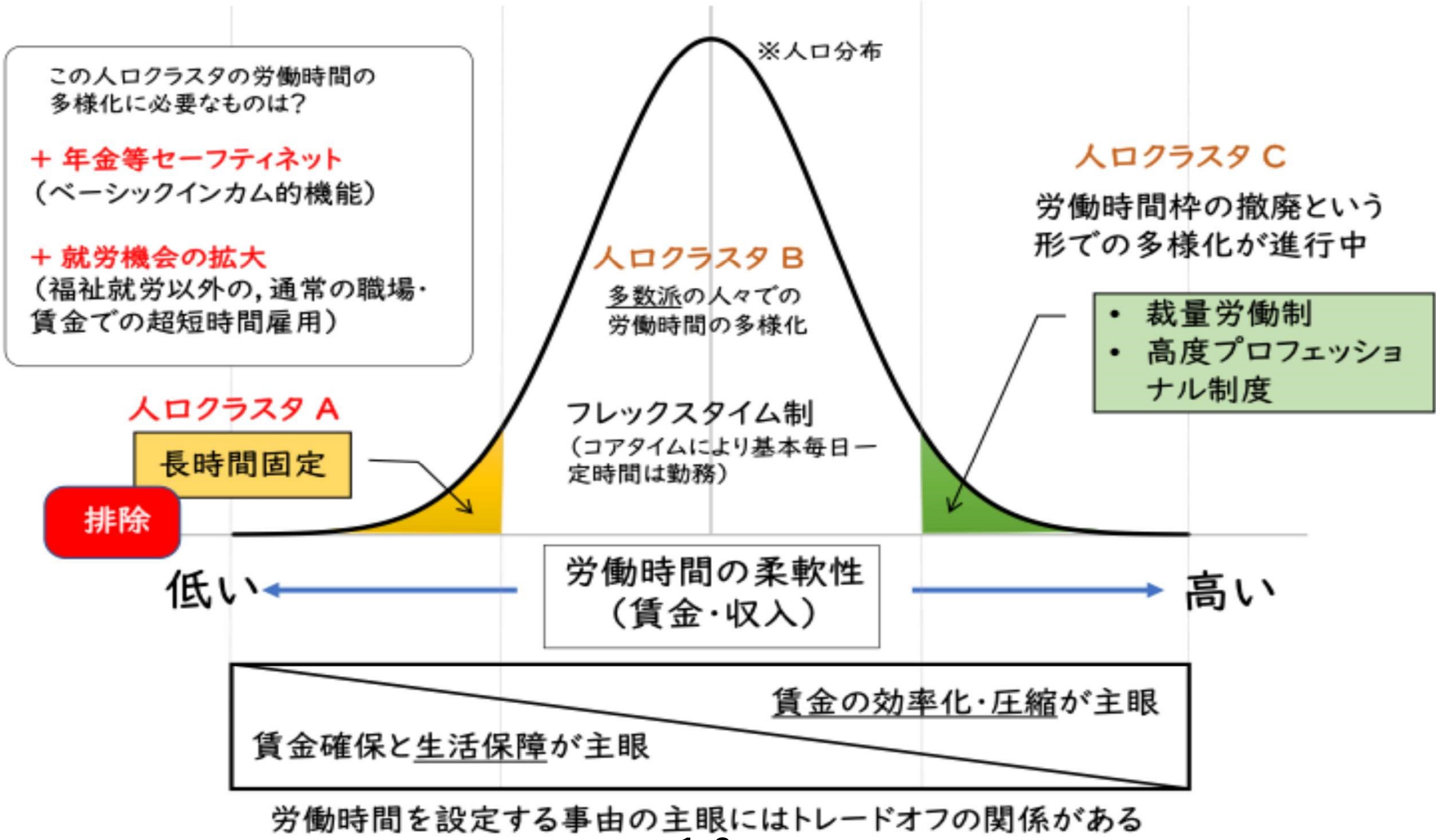
- 週40時間（障害者雇用でも週20～30時間）、年間12ヶ月を通じて働くことが通例…その結果、長時間、長期間、安定して働けない人は雇用対象になりにくい

「採用時に職務定義がない」

- 常用雇用では配置転換で職務が激変するため、暗黙のうちに「臨機応変になんでもできる人」を期待…特定分野でできることがあっても、何かできないことがある人は雇用されにくい
- 職務未定義で年功序列賃金を実現するための「全員が将来、管理職になる慣行」のため、コミュニケーション能力を求められる

✓ 上記への対応が難しい**何らかの事情（子育て、介護、疾患、障害、高齢など）のある人々**が労働社会から排除されやすい構造がある

労働時間のジレンマ


この人口クラスタの労働時間の多様化に必要なものは？
＋ 年金等セーフティネット
（ベーシックインカム的機能）
＋ 就労機会の拡大
（福祉就労以外の，通常の職場・賃金での超短時間雇用）
※人口分布
人口クラスタ B
多数派の人々での労働時間の多様化
人口クラスタ C
労働時間枠の撤廃という形での多様化が進行中
• 裁量労働制
• 高度プロフェッショナル制度
人口クラスタ A
長時間固定
排除
フレックスタイム制
（コアタイムにより基本毎日一定時間は勤務）
低い
労働時間の柔軟性（賃金・収入）
高い
賃金の効率化・圧縮が主眼
賃金確保と生活保障が主眼
労働時間を設定する事由の主眼にはトレードオフの関係がある

超短時間雇用モデル

Inclusive and Diverse Employment with Accommodation

- 壁を越えるための方策：東大先端研IDEAプロジェクトが産学官連携で開発してきた雇用モデル

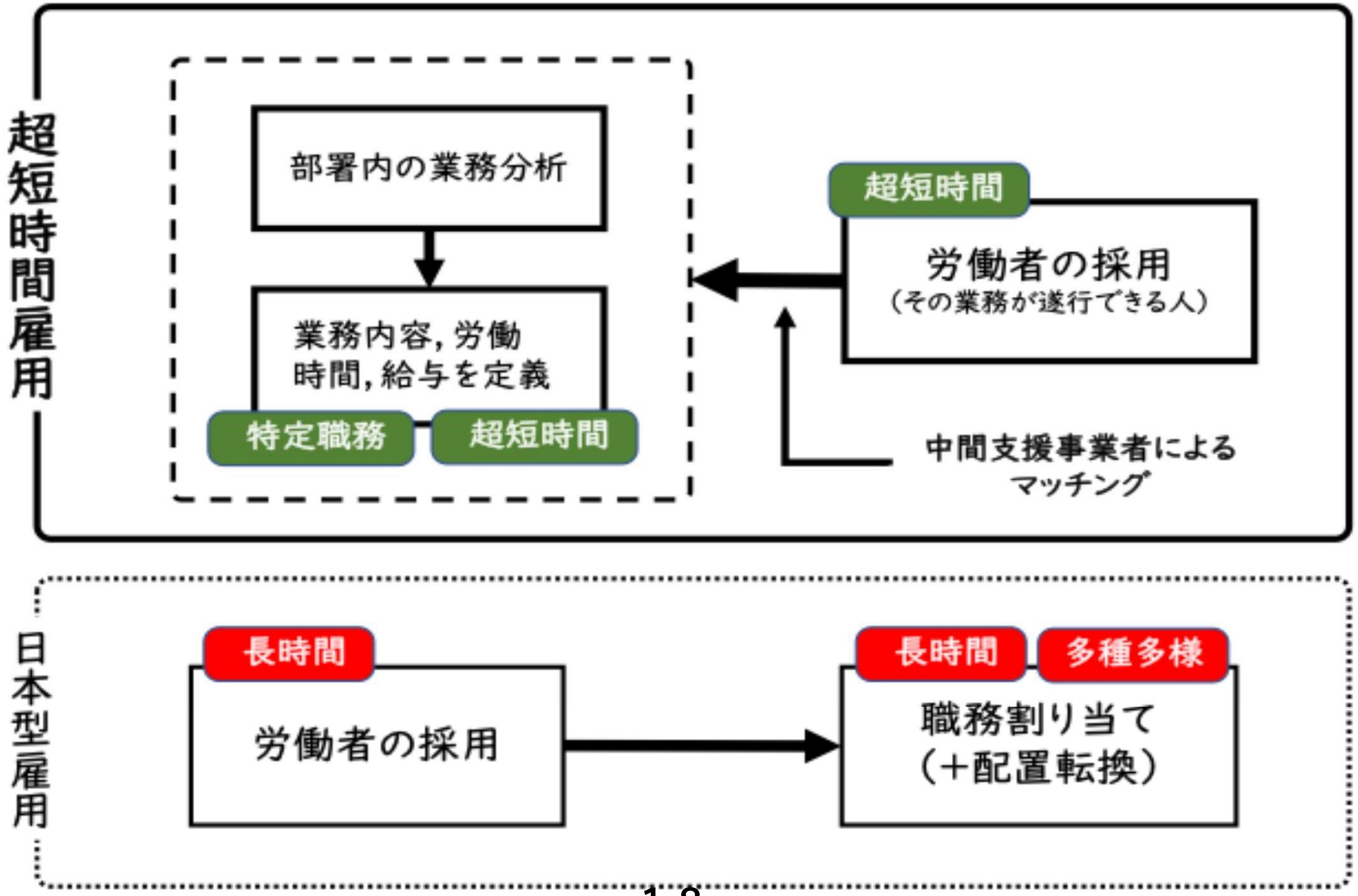
① 採用前に、職務内容を明確に定義しておく
② 定義された特定の職務で、超短時間から働く

③ 職務遂行に本質的に必要なこと以外は求めない
④ 同じ職場でともに働く

⑤ 超短時間雇用を創出する地域システムがある

⑥ 積算型雇用率を独自に算出する

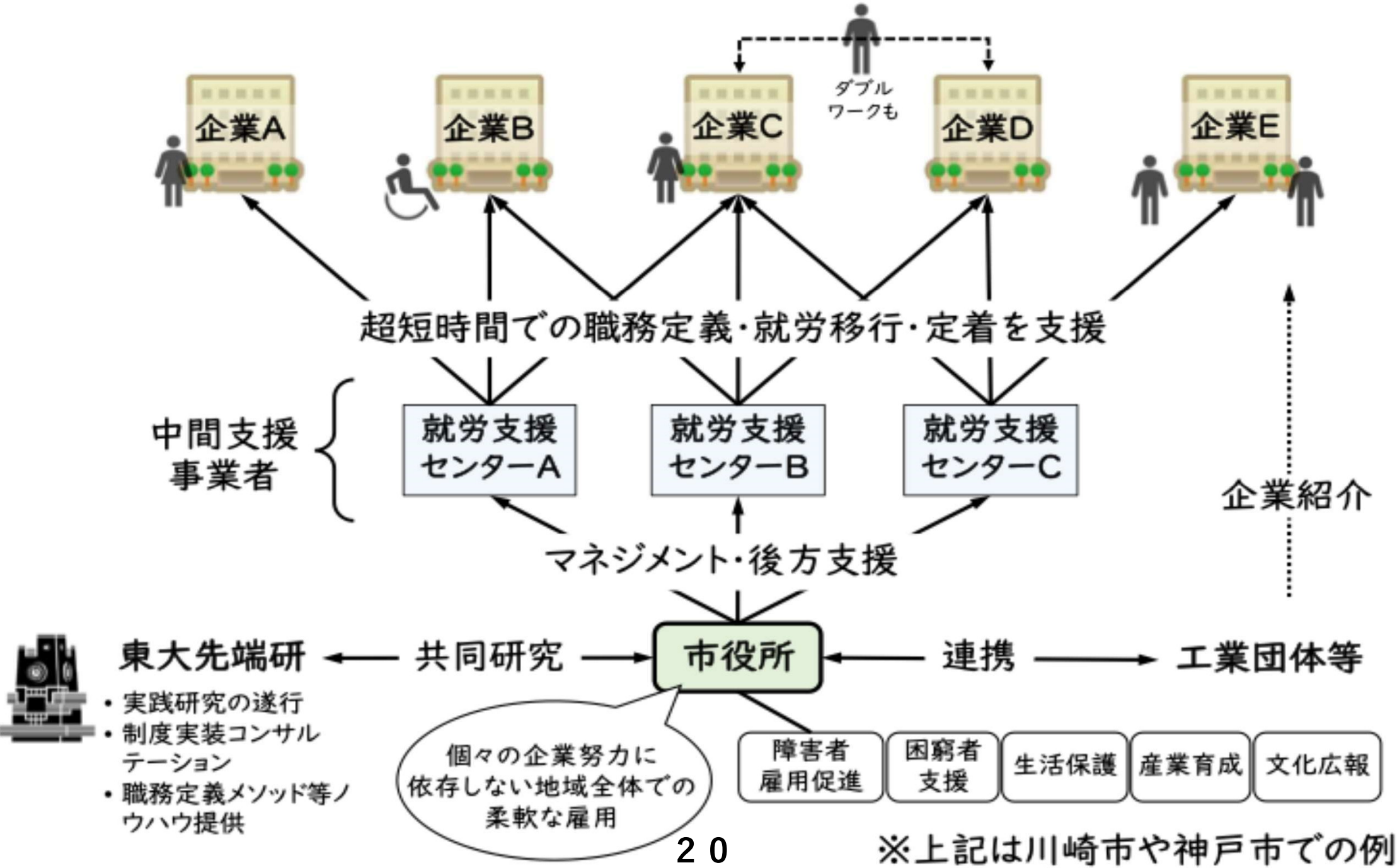
① 採用前に、職務内容を明確に定義しておく
② 定義された特定の職務で、超短時間から働く



③ 職務遂行に本質的に必要なこと以外は求めない
④ 同じ職場でともに働く

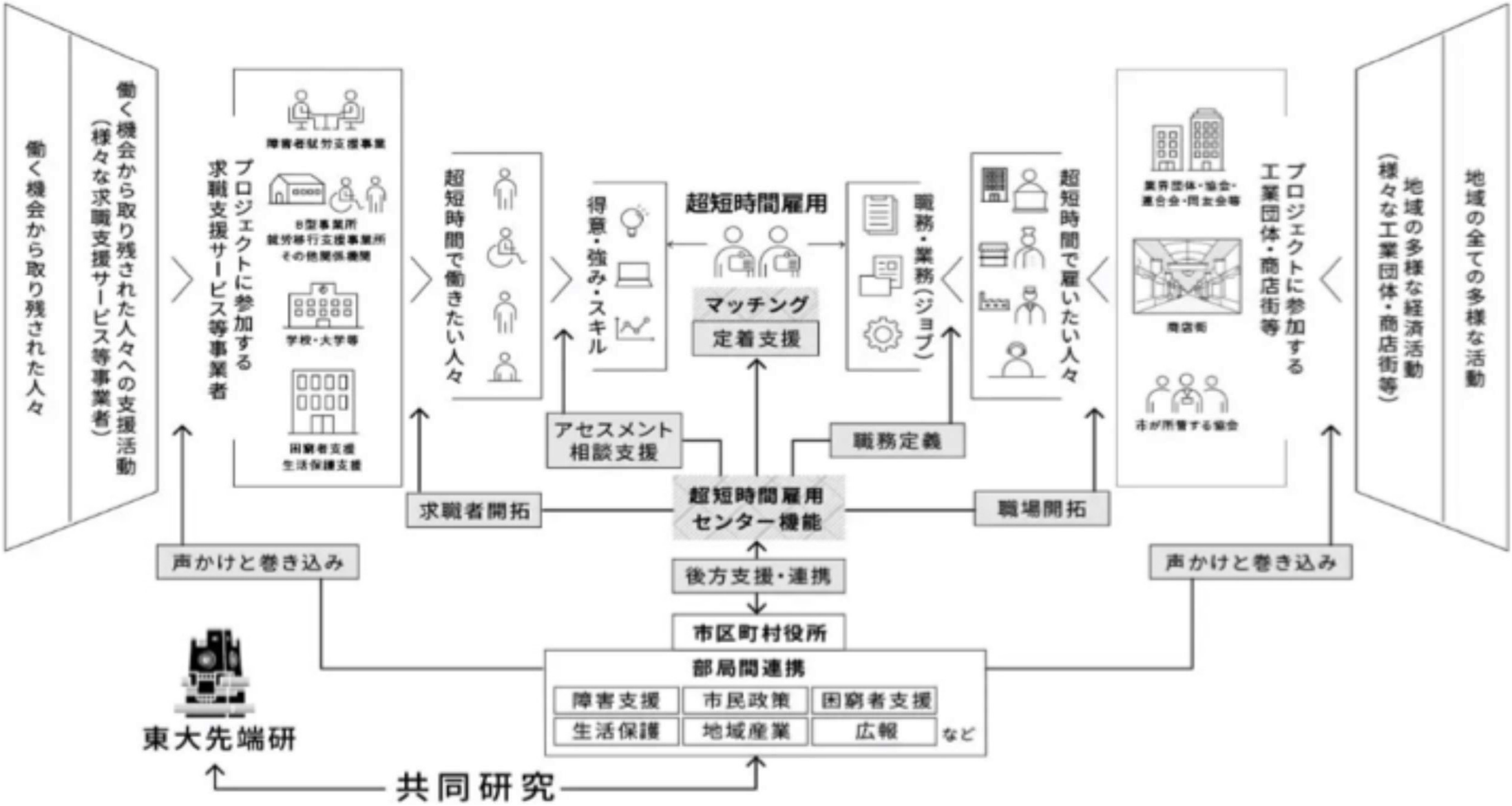
上図：「ショートタイムワークアライアンス」ウェブサイト
（https://www.softbank.jp/corp/csr/special/stwa/）より引用

⑤ 超短時間雇用を創出する地域システムがある



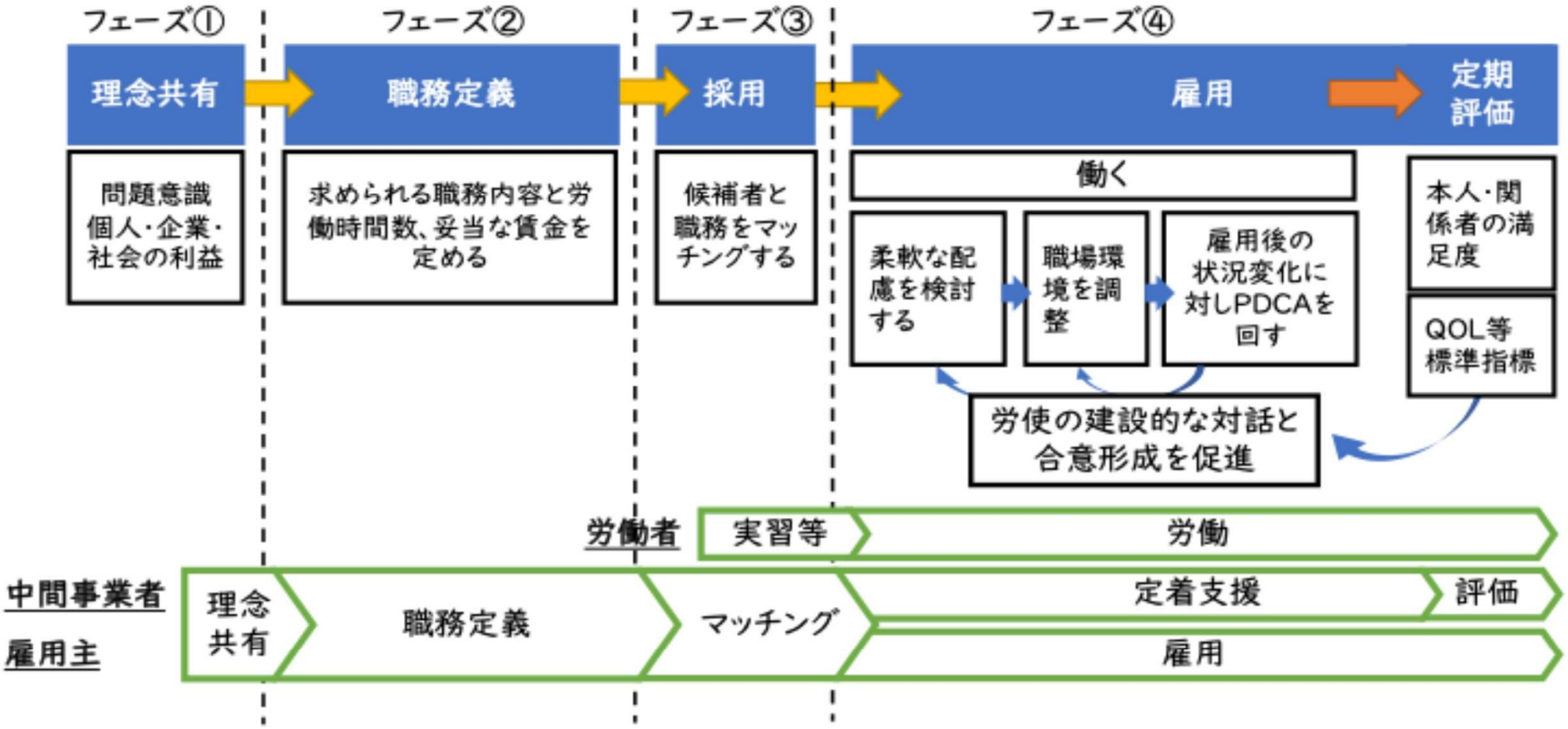
※上記は川崎市や神戸市での例

⑤ 超短時間雇用を創出する地域システムがある



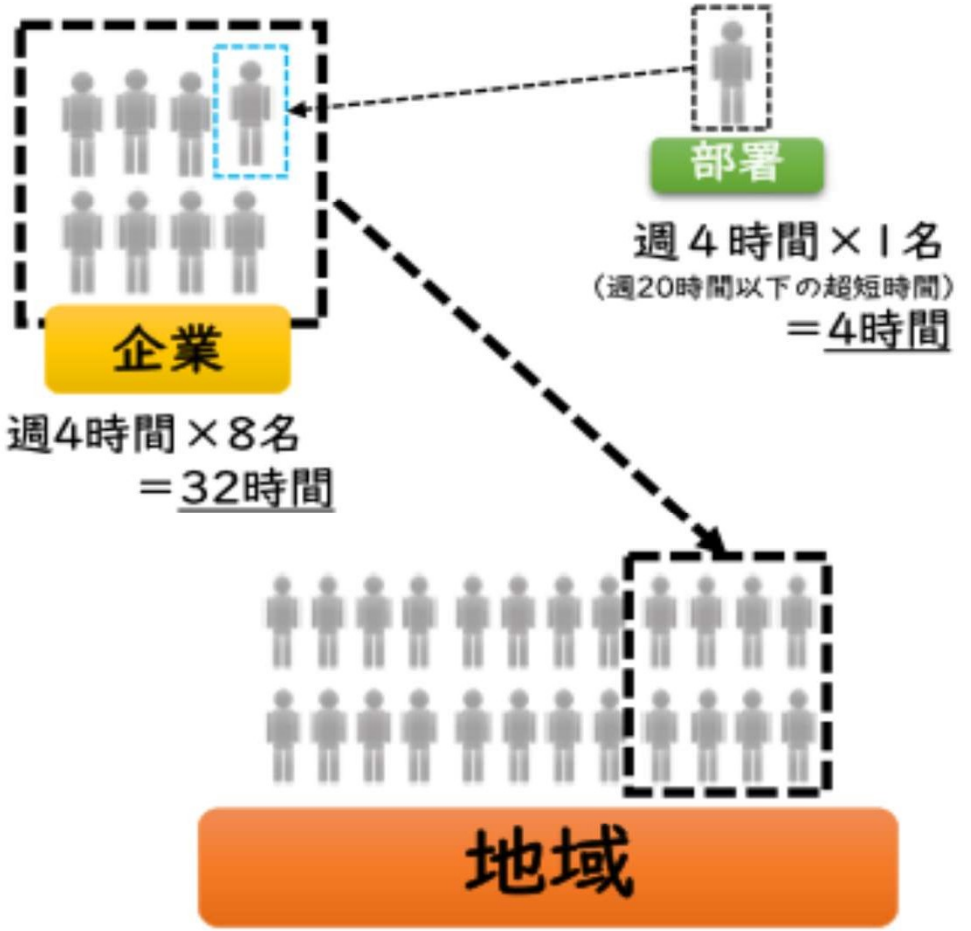
地域全体を巻き込む枠組みの実装
潜在的な働き手（図左）と雇い手（図右）

超短時間雇用の実施フロー



⑥ 積算型雇用率を独自に算出する

超短時間雇用モデル（積算型雇用率）



既存の障害者雇用率

週30時間×１名
＝30時間

超短時間雇用の積算が週30時間換算で何名分の雇用となるか？

「雇用」から私たちが得られるもの

1.収入

- 労働によって分配された収入に基づき生活保障を得る

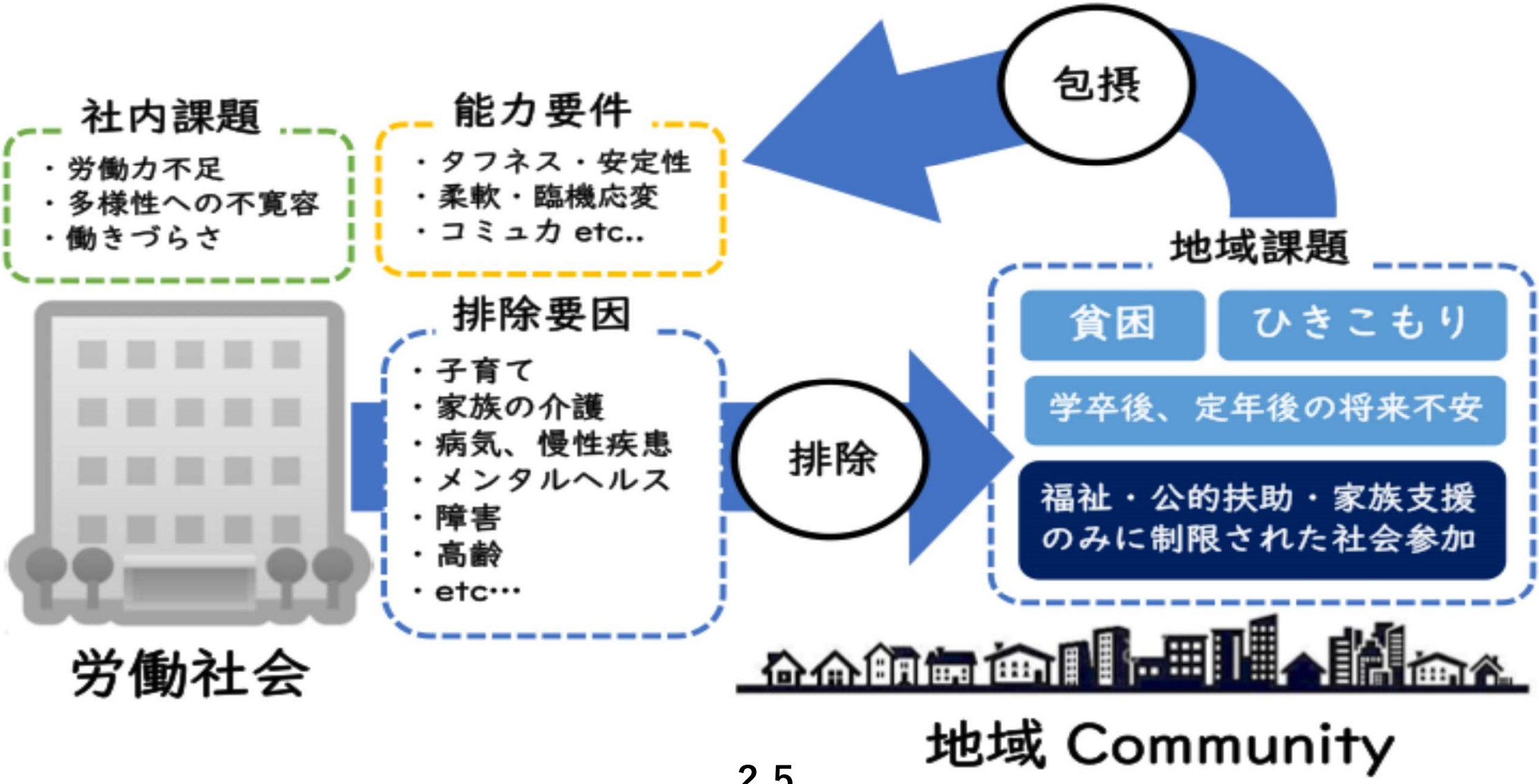
2.社会福祉・セーフティネット

- 年間を通じて週20時間以上働くことで、厚生年金に加入できる等

3.社会的所属

- 企業・組織へ所属し、社会的アイデンティティを得たり、自己実現の機会を得る

労働からの排除は「地域課題」を生む



超短時間雇用モデルと社会課題

- 超短時間雇用モデルによるインクルーシブな働き方
  - 本来は障害だけに限らず、多様な社会的排除から起こる地域課題に対応できるはず

- 個人の人生を縦割りにしない、横につなぐ仕組み
  - 公的扶助だけ、福祉資源だけ、家族資源だけ、特定企業での労働だけの縦割り（日本型雇用も同様に単線型）にしない
  - 特定資源のみからの生活保障だけではなく、多元的な社会参加機会や収入源に個人を接続する地域の仕組みを作る
  - 障害者雇用では、中間事業者の存在により実現可能性があった…高齢等のその他の領域でどのように取り組むか

EOP

令和6年度
超短時間雇用促進
窓口みっけ
取り組み報告

社会福祉法人げんき
品川区障害者就労支援センター
センター長　小島　ゆう子

議題

1　概要および実績

2　ワーカーについて

3　企業について

4　超短時間雇用促進事業の価値

5　課題と展望

1　事業概要

- 開始：令和6年度4月
- 背景：障害者雇用促進法を背景に、障害者雇用は促進されてきた一方で、障害者雇用率に計上できない障害者が排除されてきた側面がありました。
- 事業目的：品川区在住の、長時間働くことが難しい状況にある方※を対象に、週20時間未満で働く機会を作り、就労を促進すること。

（※）障害、持病や難病、引きこもり、またはそれらの複合した状況等。障害の疑いのある方も含み、障害者手帳や障害判定の有無を問わない

令和6年度事業実績

（令和6年4月～1月末）

	10か月　計	月平均
登録ワーカー数	52	5.2
相談ワーカー数（累計）	190	19
コンタクト企業数	43	4.3
相談企業数（累計）	135	13.5
企業（施設）開拓等の活動件数	1088	108.8
企業見学者数	18	1.8
企業実習者数	15	1.5
企業就労者数	7	0.7

着実に増える短時間就労希望者
就労につながった方は7名

2　ワーカー　どうして登録したの？

1日１、２時間なら働ける

収入を得て生活するため

ほしいものを買うため

人や社会とかかわりたい・役に立ちたい

ワーカー　登録するとどうなるの？

〈超短時間雇用促進窓口みっけがワーカーと伴走してフォローします〉

ワーカー　超短で働いてみた感想

精神的・身体的に
負荷がかかりにくい

働くよいきっかけ
になった

賃金が得られる

気持ちが前向き

3　企業　どうして導入したの？

人手不足

多忙

本来業務や別の業務を行いたい

社内で意見があり・・・

企業向け　活動内容

〈超短時間雇用促進窓口みっけが企業と伴走してフォローします〉

企業　導入したのはどんな企業？

清掃会社

療育施設

福祉施設

グループ企業からの受託等

企業　任されたのはどんな仕事？

・清掃

・資源ごみ仕分け

・おもちゃ消毒

・清掃・下膳

・ロゴ作成

・イラスト作成

・押印

導入企業の感想

コーディネータがいて
安心

専門職が本業に
より専念できる

イメージ通りの
オリジナルイラスト作成

一部工夫すれば
仕事はきちっとこなす

４　超短時間雇用促進事業の価値

１　働く裾野の拡大、強みを活かした働き方ができる

２　人材の確保ができる

３　安心してチャレンジできる機会

5　課題と今後の展望

1　もっと働く場の開拓をすすめたい

→企業開拓先（コネクション、規模）やアプローチ方法、ツール（動画、チラシ）を見直したい。同時に、品川らしさも求め、商店街や特色ある企業等にもアプローチしていきたい。

2　もっとワーカーを知る機会・時間を確保したい

→仕事体験や実習等を提供したい。所属機関等がある方は、引き続き情報提供をお願いしたい。

3　もっと品川区内に広めていきたい

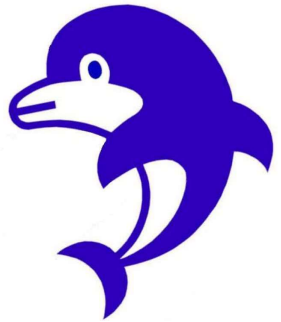
→マンパワー的なこともありますが、さらなる業務の効率化をすすめるとともに、所属機関等があるワーカーについては、引き続き協力をお願いしたい。

ありがとうございました

社会福祉法人げんき
品川区障害者就労支援センター
センター長　小島　ゆう子

品川区
超短時間雇用シンポジウム
事例報告①

松戸利久
しながわ水族館



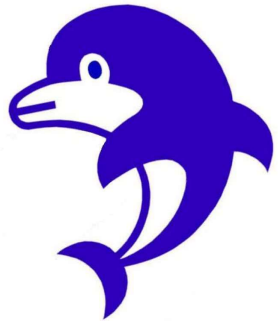
しながわ水族館の業務

①スマイル（営業担当）

- **接客**（来館者や営業問い合わせ対応）
- **広報**（宣伝、広告）
- **法人営業**（企業向け営業）

②アクア（飼育担当）

- **魚類**（海水魚、淡水魚、クラゲなど）
- **海獣類**（イルカ、アザラシ、ペンギンなど）
- **設備**（飼育設備、館内設備など）



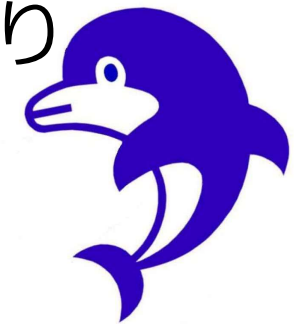
導入に際し留意した点

職場内における受け入れ態勢の整備

☞共に働くスタッフが障害のある方や長時間働くことの
　困難な方への理解を進める

業務に就いていただく上での配慮

☞制限（超短時間）がある中での働きやすい環境作り



業務分解①

各セクションの業務を細分化

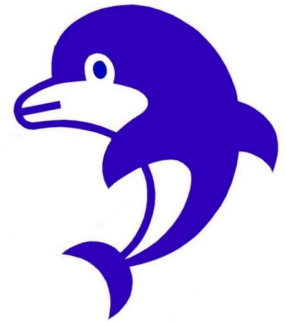
→業務にかかっている時間や難易度、重要度を確認

スマイル担当

→券売、検札、館内案内、ショー前説、電話対応
　SNS投稿、イベント企画、外部広報活動 など

アクア担当

→調餌、バケツ洗浄、水槽内清掃、観覧面清掃
　給餌（魚類・海獣類）、見回り、投薬作り など



業務分解②

細分化した業務から依頼する業務を選定

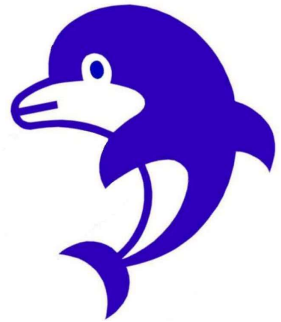
協力：東京大学先端科学技術研究センター　松清先生
品川区障害者就労支援センター 小島氏・平賀氏

☞**薬の準備**

海獣類に毎日サプリメントとして与えている
薬（ビタミン剤など）の準備

☞**作業着整理**

スタッフの作業着（洗濯・乾燥済み）を畳み
所定の場所に収納する

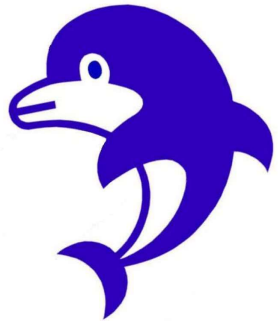


現場実習

希望者が現場で実業務を経験する

☞職場環境の注意点を事前共有

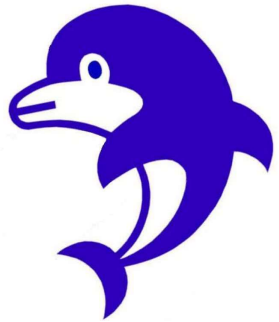
- 電話が掛かってくる（頻度：低）
- 無線機から連絡が入る（頻度：高）
- 警報音が鳴る（頻度：低）
- 足元が濡れている、においがある（水族館特有）
- 調餌場では包丁を扱っている人がいる
- 各所に段差がある



結果

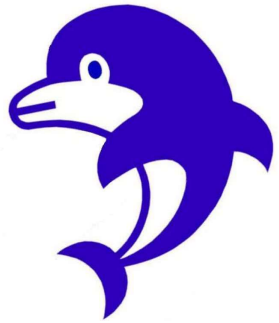
超短時間雇用受け入れの検討を行うことで

・「超短時間雇用」の存在を知ることができた
　☞雇用の多様性を知るいい機会となった
・業務全体の見直しをする機会になった
　☞各スタッフが個々の業務の再認識・整理を行えた
・職場環境の見直しができた
　☞効率の良い導線確保や整理整頓の機会となった



今後

- **就労者の要望をヒアリング**
  ☞コミュニケーションを密にすることで依頼した業務の効率化を図る
- **スキルアップ**
  ☞徐々に業務レベルを高めることで業務スキルを向上させる
- **就労意欲の向上**
  ☞無理のない業務範囲拡大はモチベーションの向上につながると考える



【本日のアジェンダ】

1. 会社概要
2. 品川区との包括協定締結
3. 超短時間雇用促進
4. 具体的な業務内容等（採用フロー）
5. 他の業務内容等
6. 工夫していること
7. 超短時間雇用を導入してみた感想

Copyright (c) 2024 Lawson, Inc. All rights reserved.

1.会社概要

株式会社ローソンウィル（特例子会社）

資本金	1,000万円
所在地	東京都品川区大崎1-11-2
会社設立日	2012年8月1日
従業員数	41名（うち、障がい者従業員40名）
事業内容	グループ企業の業務の一部を受託

・障がい者雇用を目的として設立された特例子会社
・店舗、事務所それぞれ在籍従業員のフォローを社員が担っています

※1 特例子会社：障がい者の雇用に特別の配慮をし、国から認定を受けた会社のこと。特例子会社に雇用されている労働者を親会社に雇用されているものとみなして、親会社（グループ企業にも適用可能）の障がい者雇用率に算入することができます。

Copyright (c) 2024 Lawson, Inc. All rights reserved.

2.品川区と包括連携協定締結

地域の活性化、区民が安心して暮らせるマチをめざし

<東京都>品川区と『包括連携協定』を締結

2024年5月17日

株式会社ローソン（本社：東京都品川区、代表取締役　社長：竹増　貞信、以下「ローソン」）は、5月22日（水）に、品川区と包括連携協定を締結いたします。品川区が企業と包括連携協定を結ぶのは今回が初めてです。この協定は、品川区とローソンが互いに持つリソースを活かし、品川区における地域の一層の活性化と、区民の皆様が安心して暮らせるまちづくりを目指すものです。

ローソンは2004年に本社を港区芝浦から品川区大崎に移転し、今年で20周年になります。ローソンは本協定書の締結を機に、品川区内のローソン店舗へのAEDの設置連携や品川区の学生の皆さんへの育成支援など、地域の活性化に向けた取り組みをより一層進めてまいります。また、ローソンが東京都の市区町村と包括連携協定を結ぶのは今回が初めてです。

■包括連携協定の主な内容

（1）　地域の安全・安心に関すること
（2）　子ども・青少年育成支援に関すること
（3）　高齢者・障がい者支援に関すること
（4）　文化・観光・スポーツ振興に関すること
（5）　環境保全・環境活動の支援に関すること
（6）　産業振興に関すること
（7）　健康づくりの推進に関すること
（8）　区政情報の発信に関すること
（9）　その他、品川区の地域活性化および区民サービスの向上に関すること

Copyright (c) 2024 Lawson, Inc. All rights reserved.

3.超短時間雇用促進　※品川区HPより抜粋

超短時間雇用促進事業

更新日：令和6年4月30日

品川区では、長時間働くことが難しい状況（※）にある方々を対象として、一般就労を促進するため、週20時間未満での働き方となる超短時間雇用促進事業を進めています。
（※）障害、持病や難病、引きこもり、またはそれらの複合した状況等。障害の疑いのある方も含み、障害者手帳や障害判定の有無を問いません。

働くことをご検討の方へ

「品川区超短時間雇用促進窓口みっけ」で登録を受け付けております。対象者は、品川区在住の長時間働くことが難しい状況にある方々です。登録料や利用料は無料です。働くことに不安があっても、経験豊富なコーディネーターがご自身の得意なことや苦手なことを丁寧にお聞きし、就労につなげられるようサポートいたします。心身の状況により長時間働くことが難しくても、特定のこの仕事なら自分の強みを発揮できるという方をお待ちしております。登録にあたって面談をさせていただきますので、まずはご連絡をお願い致します。

【品川区超短時間雇用促進窓口みっけ】超短時間就労促進事業（利用者周知用チラシ）(PDF：693KB)

導入をご検討の企業等の方へ

導入にあたり、業務内容を細かくお聞きし、超短時間雇用の働き方に適した短時間での業務をご提案させていただきます。短時間でできる仕事を別の方に担当していただくことで、業務の効率化や業務の見直しにつながること、職場における多様性理解が進む等のメリットがあります。登録料や利用料は無料です。導入をご検討の企業等におかれましては、品川区超短時間雇用促進窓口みっけのコーディネーターが訪問し、業務内容についてヒアリングをさせていただきますので、まずはご連絡をお願い致します。

Copyright (c) 2024 Lawson, Inc. All rights reserved.

4.具体的な業務内容等

（1）採用までのフロー

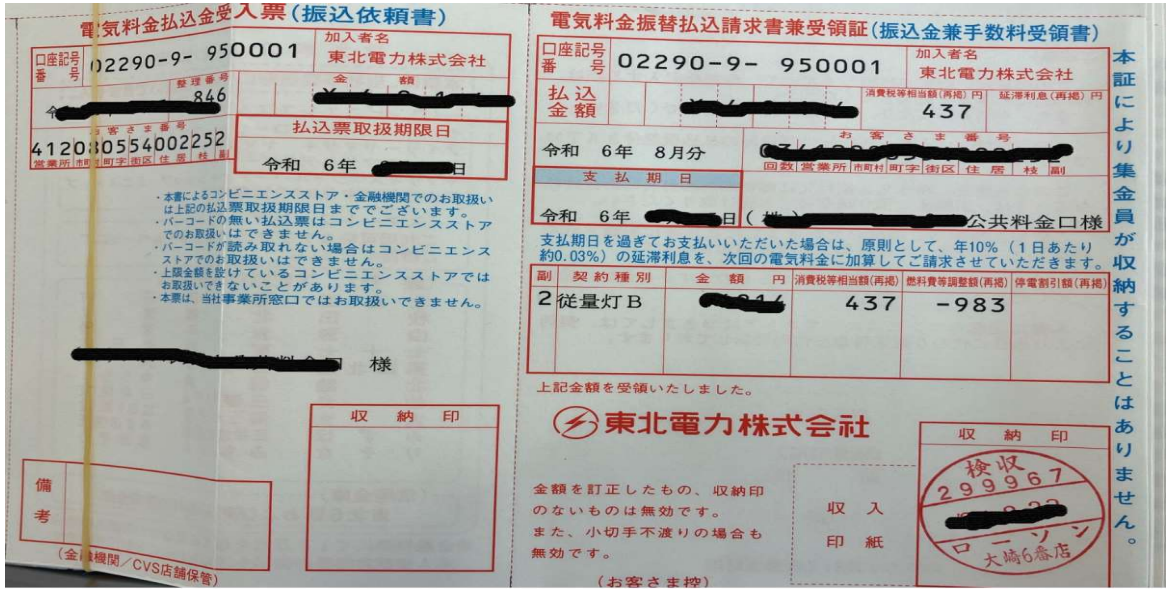
（2）就労時間：2時間30分/日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	就業時間（週）
Aさん	9:00～11:30	9:00～11:30	ー	9:00～11:30	9:00～11:30	10時間
Bさん	13:00～15:30	ー	9:00～11:30	ー	13:00～15:30	7時間30分

Copyright (c) 2024 Lawson, Inc. All rights reserved.

4.具体的な業務内容等

（3）業務内容：収納代行への押印業務

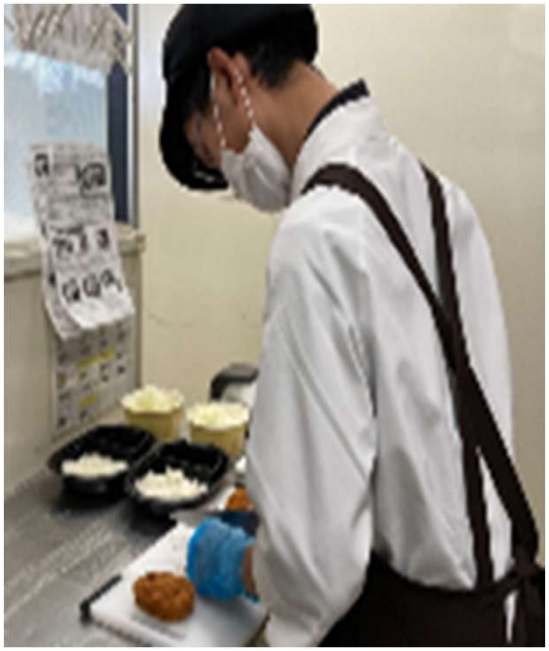


Copyright (c) 2024 Lawson, Inc. All rights reserved.

4. 他の業務内容等①

（1）店舗（直営店）勤務

品出し、清掃、レジ入力、厨房作成

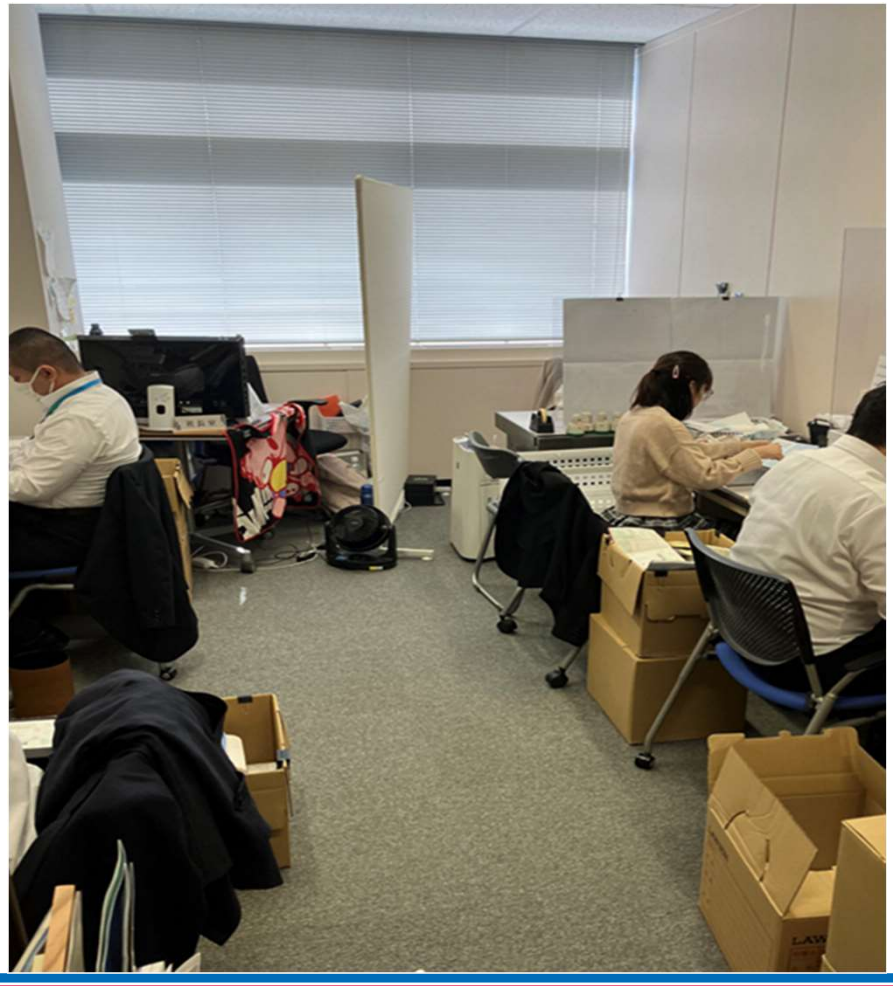


Copyright (c) 2024 Lawson, Inc. All rights reserved.

4. 他の業務内容等②

（2）事務所勤務（本社 大崎）

①収納代行業務
②他部署の業務委託作業（応接室清掃、製本、備品の発送等）



Copyright (c) 2024 Lawson, Inc. All rights reserved.

5. 他の業務内容等③

（3）メール室勤務（本社 大崎）

社内メール便の入出荷業務：宅配物・郵便物の仕分け業務

宅配仕分け

メール便出荷業務

郵便仕分け

メール便入荷業務

Copyright (c) 2024 Lawson, Inc. All rights reserved.

6. 工夫していること

■役割分担と丁寧なコミュニケーション

・特性にあった仕事をお願いする

・仕事、業務内容は明確にする

・マニュアルや事例を最大限に共有する

・進捗が思わしくない仕事は直ぐに助け合う

・役割を明確にする

■進捗・時間・手順・コミュニケーションの可視化

・進捗・時間・手順を可視化することで働きやすさが創出される

・コミュニケーションを可視化することで安心感に繋がる

・必要な周知内容は文書に残るようにお伝えする

Copyright (c) 2024 Lawson, Inc. All rights reserved.

7. 超短時間雇用を導入してみた感想

■超短時間勤務で社会で働ける方は確実に増える

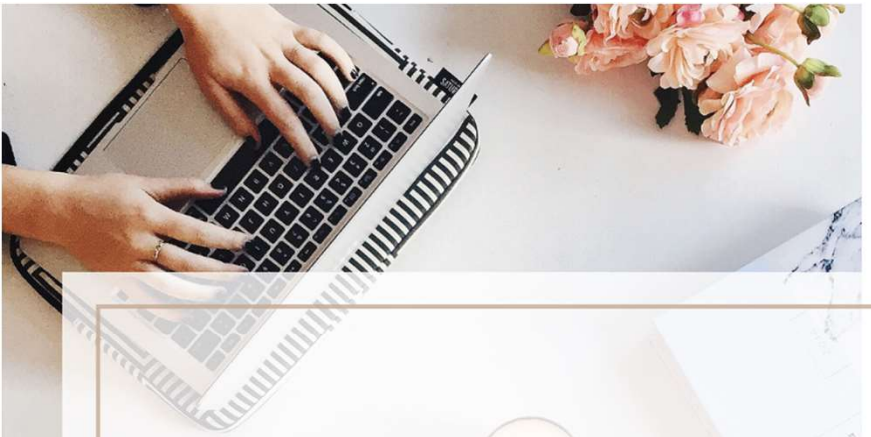
・超短時間勤務において今年度は2名の新規採用を実現

・超短時間勤務で特性に応じた仕事・業務内容が確認できた

・特性やご希望の働き方は定着性に繋がる

・特性、希望に沿った障がい者雇用が定着性に繋がる（障がい者雇用率に繋がる）

Copyright (c) 2024 Lawson, Inc. All rights reserved.



在宅で楽しく働きたい
そんなあなたを応援します！

The Entertainment Jobs

エンターテイメントを手掛ける
第一興商から
新しいお仕事をご案内いたします。

第一興商

第一興商の概要

第一興商

社是
もっと音楽を世に
もっとサービスを世に

- ■商号　株式会社　第一興商
- ■本社所在地　東京都品川区北品川
- ■設立　1973年4月16日
- ■従業員　当社　1,932名
  グループ　3,411名（2024.3.31現在）

事業内容

カラオケ・飲食店舗事業

BIG ECHO / ビッグエコー / うたの家 / 湊一也 / 楽蔵うたげ

業務用カラオケ事業

DAM

音楽ソフト事業

CROWN 日本クラウン株式会社
TOKUMA JAPAN COMMUNICATIONS
CROWN TOKUMA music distribution クラウン直営ミュージックショップ

ＢＧＭ放送事業

スターデジオ トコトン、オンガク。
スターデジオ光 トコトン、オンガク。
音楽×映像チャンネルで空間演出 STARDAM スターダム

Ｗｅｂ事業

XODAM
カラオケ@DAM
DAM歌詞
カラオケ 光BOX+@DAM

業務用カラオケ事業を中心とする「うたと音楽」のエンターテインメント企業

超短時間雇用促進事業の活用の経緯

障がいを持たれた方が社会でもっと活躍出来る場を構築していきたい

▼

今までにない新しい分野の仕事として、弊社得意分野である「エンターテイメント」の仕事で雇用

▼

超短時間雇用促進事業を活用

FREE DAM LIFEについて

楽曲 数　　：約130,000曲

コンテンツ数：約1,400種類

【生活総合機能改善機器FREEDAM LIFE とは】

通信カラオケ「DAM」を活用した、介護予防・健康増進コンテンツ配信システムです。「音楽」・「体操」・「映像」などのオリジナルプログラムを通じて、「楽しい」・「面白い」という体験を共有しながら心身に効果を実感していくことができます。
豊富なコンテンツから、対象者や目的に合ったコンテンツを選び体験していくうちに、自ずと「介護予防」や「健康増進」につながり、「生きがいづくり」の大きな力となっていきます。

基本のコンテンツが充実！

MUSIC　EXERCISE　VIDEO　KARAOKE

音楽、体操、映像、カラオケ・ゲームなど豊富に揃っています。

一体型通信カラオケシステム

楽曲は厳選ラインナップ。月次配信もあるので新曲も常備。

研究に基づいたコンテンツを搭載

みんなの元気塾
コグニサイズ
はつらつ教室

日常に利用できるBGM・効果音なども搭載

映像	マイク
屋外対応	効果音
BGM	BGV

電源はコンセント1つでOK！

テンポもキーも自由自在に調整可能

利用者のレベルに合わせて調整。

そのまま使える『おすすめプログラム』

現場ですぐ使える1時間程度のプログラム集を定期配信。
活用方法はWEBサイトで公開。

おすすめプログラム

エンターテインメント企業の本領発揮！

安全で楽しく、効果的なコンテンツで地域社会の笑顔を創出する！

介護施設の利用者に

イスに座ったままでの体操

趣味や学びで

ウクレレ練習

多世代交流に

身体をドラムに見立てたリズム練習

介護予防の場で

踏み台ステップ運動

地域イベントでは

盆踊り

男性を対象に

ボイストレーニング

カラオケサークルでは

歌詞にある場所をバスツアーで巡る

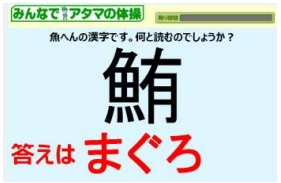
親子教室で

親子でダンス

子育て支援に

道徳映像

認知機能低下予防に



頭のクイズ

元気高齢者には

ディスコダンス

機能訓練にも対応

呼吸法

OriHime（オリヒメ）について

OriHimeは分身ロボット

会話や反応をリアルタイムで行うので、実際に人がいるのと同じ感覚になります。

簡単操作で自分の意思で動かす事が出来るので、まさに自分の分身ロボットといえます。

遠隔で操作が可能

人工知能で動くAIロボットではありません。

遠隔操作でリアルタイムに見渡せて、会話でき、首や手を動かす事が出来るロボットです。

【OriHime(オリヒメ)のモーション(一例)】

新たな分野のお仕事提案

生活総合機能改善機器
FREE DAM LIFE

生活総合機能改善機器
DK ELDER SYSTEM
FREEDAM LIFE

×

分身ロボット
OriHime(オリヒメ)

OriHime

Work in entertainment !

新たな分野のお仕事提案

Point 1

アプリから全国に
エンタメコンテンツ
を提供できます！

在宅でDAMを操作し、DAMパイロット（操作オペレーター）として
全国の様々な人と会話をするのがお仕事です♪

Point 2

お相手とは
会話ロボットを
通じてお話します！

実際の活躍状況

既に「DAMパイロット」は活躍を始めております。

品川リハビリテーションパーク

品川リハビリテーションパーク様ご協力のもと、施設ご利用者様に対して、実際に「DAMパイロット」が音楽セッションを実施。

（ご利用者様の感想） すごく楽しかった。ロボットが愛嬌があり可愛かった。

（施設職員様の感想） 介護業界は人手不足なので、非常に助かる。
新たな可能性を感じた。

「DAMパイロット」の仕事は介護施設だけではなく、様々な場所での活躍が期待出来ます。

【地域コミュニティの場】

【学校・子ども食堂 等】

【保育園】

【地域の様々なイベント】

実際の映像をご覧ください

まとめ

共生社会の実現

今後も弊社は「エンターテイメント」といった新しい分野の仕事を提供する事で、
「やりがい・楽しさ」を通じ、社会の一員として活躍出来る場の構築を目指します。

**超短時間雇用促進事業を活用し、多様性（ダイバーシティ）と
包摂性（インクルージョン）のある社会の実現**